

平成19年3月期 決算説明会

株式会社 NFKホールディングス

平成19年5月30日

開催時間 13:30～14:30

会社概要

会社名：株式会社 NFKホールディングス(旧 日本ファーンネス工業株式会社)

創立： 昭和25年4月12日

事業内容： 持株会社(工業炉熱焼装置製造業、不動産業)

資本金： 70億円(平成19年3月末日 現在)

株主数： 10,142名(前期比430名減)

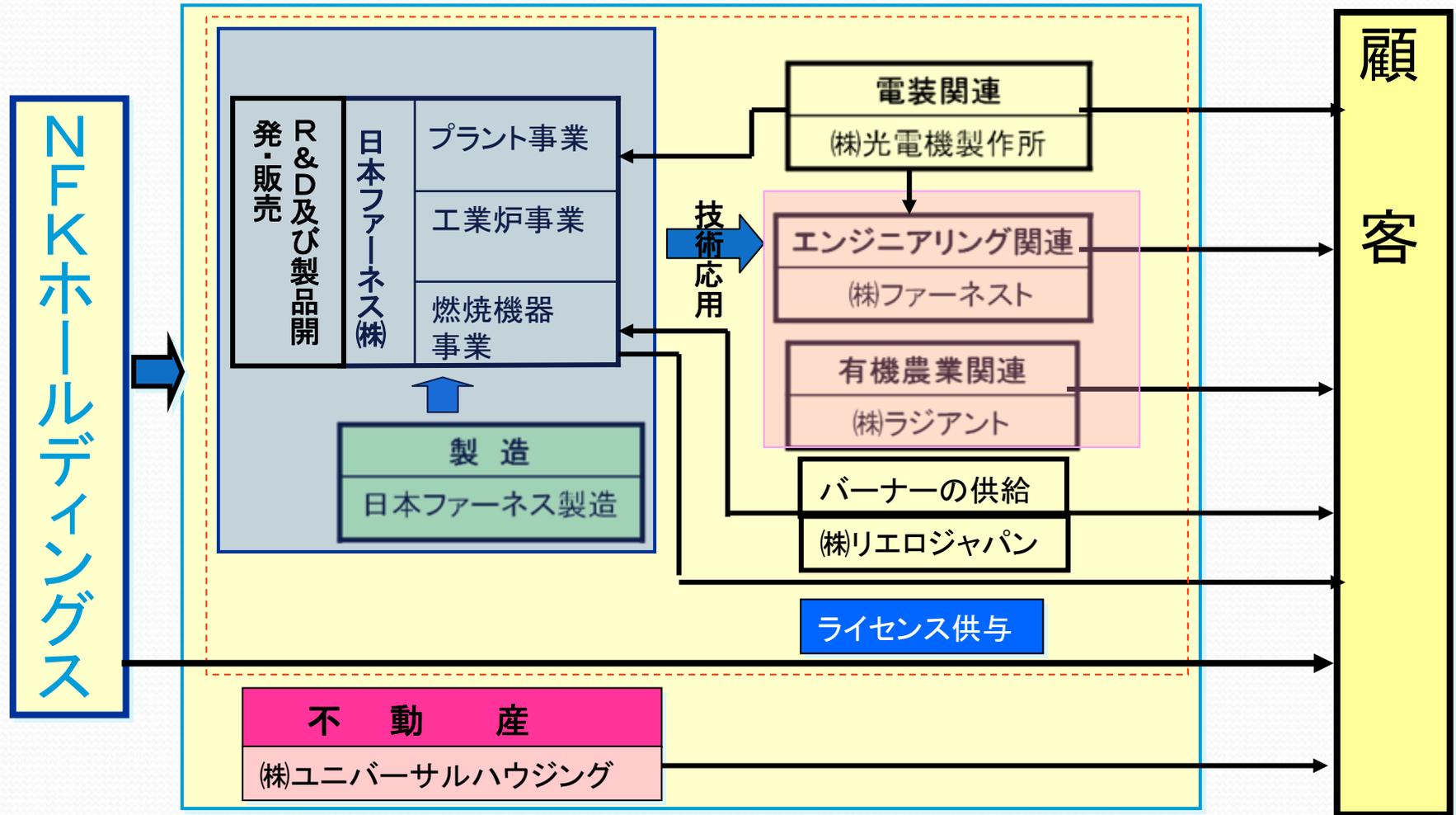
従業員数： 連結130名 単独8名(出向者77名)

連結対象会社： 11社

営業拠点： 東京、横浜、大阪、愛知、ベトナム、シンガポール

技術供与先(海外)：韓国、台湾、カナダ、スウェーデン、イタリア

グループ概要



平成19年3月期 連結決算について

1. **当期の決算は、過去の負の遺産の撲滅
（資産・負債の厳格な査定）**
2. **モーター関連事業からの撤退の為の処理**

1 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期		前年比
売上高	12,001	100.0%	6,885	100.0%	前期は、6ヶ月変則決算の為、比較は、行っておりません。
売上原価	10,225	85.2%	5,931	86.1%	
売上総利益	1,775	14.8%	954	13.9%	
販売管理費	1,577	13.1%	691	10.0%	
営業利益	198	1.6%	262	3.8%	
営業外収益	▲259	2.2%	▲205	▲3.0%	
経常利益	▲61	▲0.5%	57	0.8%	
特別損益	▲2,149	▲17.9%	▲519	▲7.5%	
税引当利益	▲2,194	▲18.3%	▲461	▲6.7%	
当期純利益	▲2,193	▲18.3%	▲489	▲7.1%	

2 貸借対照表(連結) I

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期		前期比	要因
	金額	割合	金額	割合		
流動資産	6,899	66.2%	7,960	65.1%	▲1,061	棚卸資産(土地等)の減少
固定資産	3,529	33.8%	4,260	34.9%	▲731	投資有価証券の減少
資産合計	10,428	100.0%	12,221	100.0%	▲1,793	
流動負債	2,407	23.1%	3,626	29.7%	▲1,219	借入金の返済
固定負債	1,085	10.4%	1,257	10.3%	▲172	借入金(長期)の返済
負債合計	3,492	33.5%	4,883	40.0%	▲1,391	

2 貸借対照表(連結) II

(単位:百万円)

	平成19年3月期		平成18年3月期		前期比	要因
少数株主持分	—	—	331	2.7%		
株主資本	—	—	7,006	57.3%		
負債・資本合計	—	—	12,221	100.0%		
株主資本	6,582	63.1%				特別損失による当期純損失および増資
評価・換算差額等	124	1.2%				
新株予約権	5	0.0%				
少数株主持分	223	2.1%				
純資産合計	6,935	66.5%				
負債純資産	10,428	100.0%				

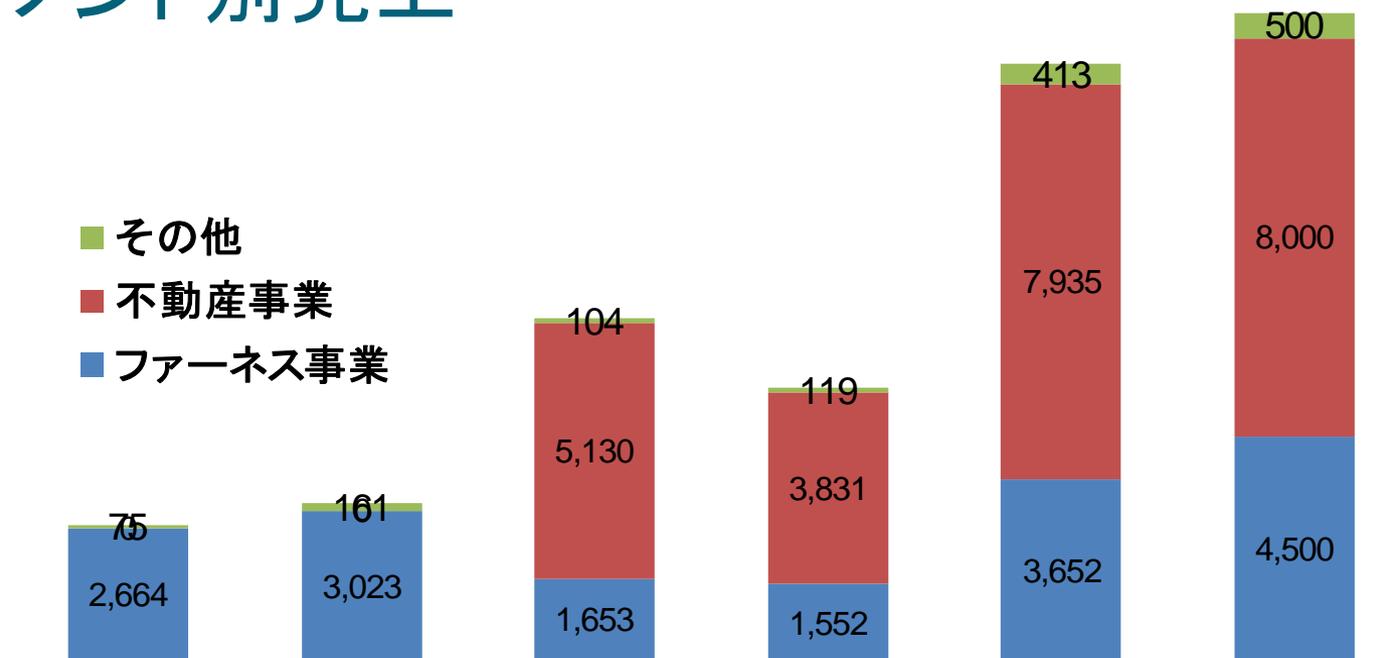
3 キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期	前期比
営業キャッシュフロー	2,106	1,407	699
投資キャッシュフロー	▲1,376	▲1,676	300
財務キャッシュフロー	248	▲561	809
現金及び現金同等物の増減	978	▲830	1,808
現金及び現金同等物の期末残	1,580	601	979

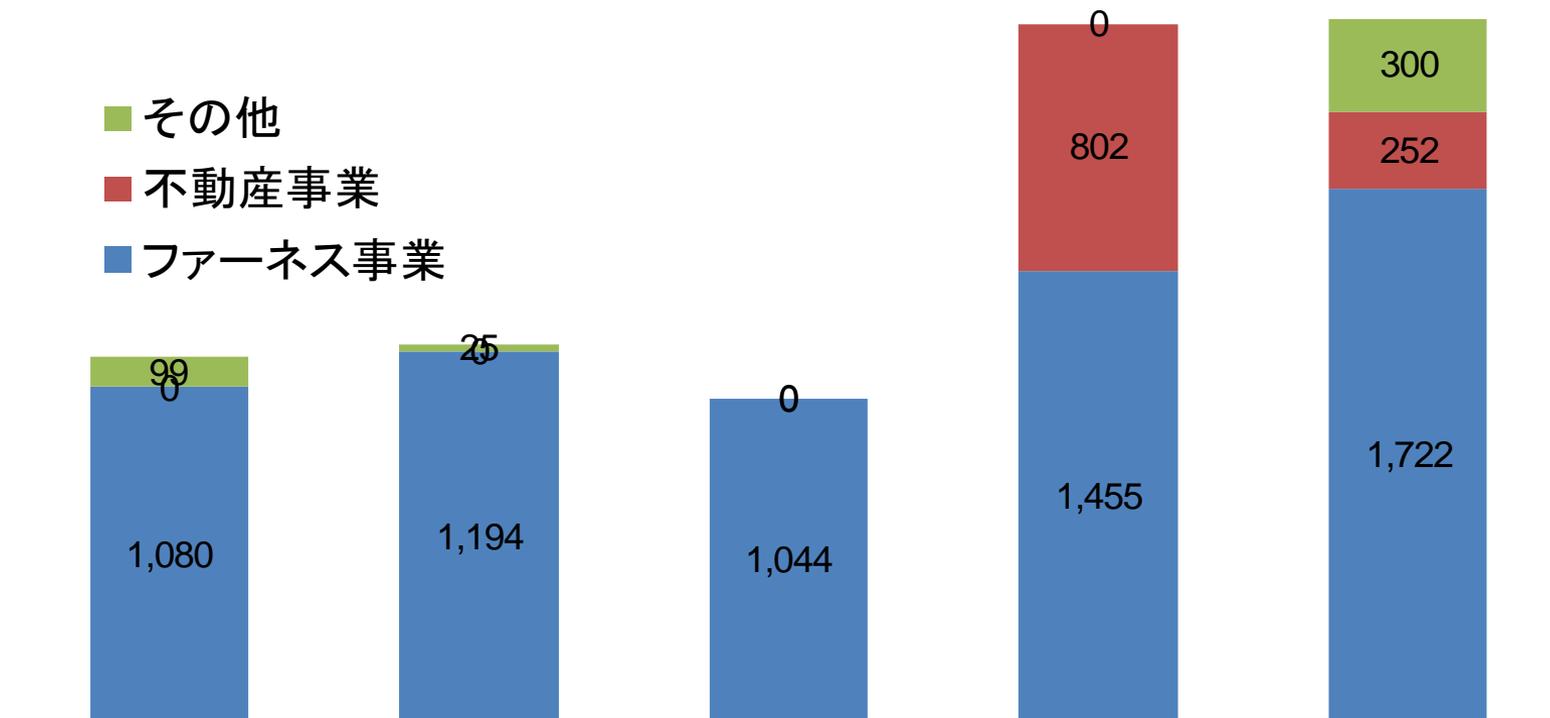
※平成18年3月期は、6ヶ月決算

4 セグメント別売上



	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年3月期	平成19年3月期中間(参考)	平成19年3月期	平成20年3月期(予測)
ファーンエス事業	2,664	3,023	1,653	1,552	3,652	4,500
不動産事業	-	-	5,130	3,831	7,935	8,000
その他	75	161	104	119	413	500
合計	2,739	3,184	6,887	5,502	12,000	13,000

5 セグメント別 受注残高



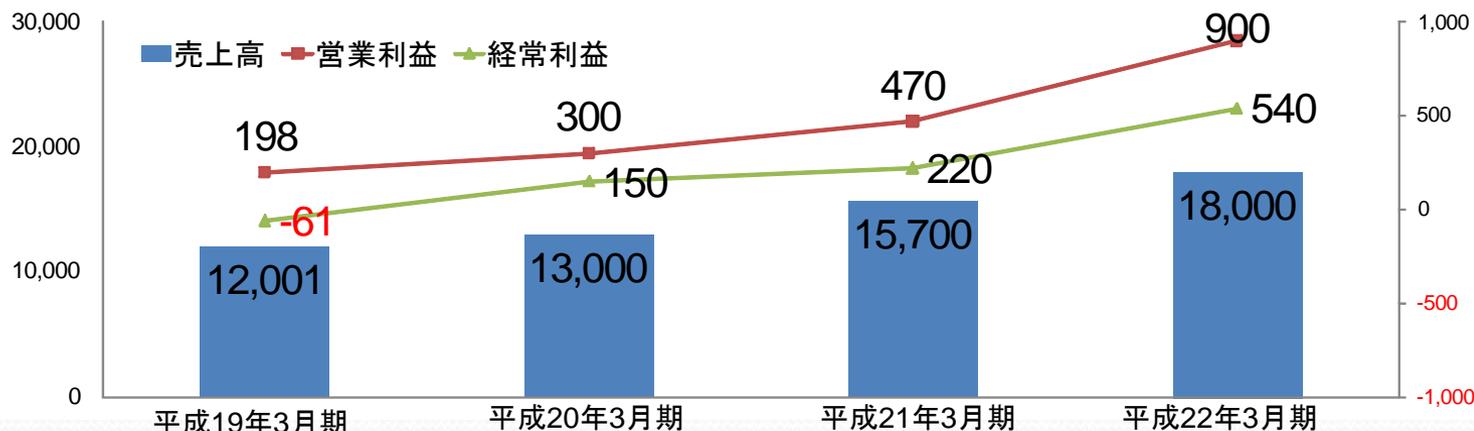
	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年3月期	平成19年3月期中間(参考)	平成19年3月期
ファーネス事業	1,080	1,194	1,044	1,455	1,722
不動産事業	-	-	-	802	252
その他	99	25	-	-	300

平成20年3月期 連結決算見通し 及び中期計画

1 平成20年3月期 見通しについて

	平成20年3月期		平成19年3月期		前期比	
売上高	13,000	100.0%	12,001	100.0%	999	108.3%
売上総利益	1,900	14.6%	1,775	14.8%	125	107.0%
販売管理費	1,600	12.3%	1,577	13.1%	23	101.5%
営業利益	300	2.3%	198	1.6%	102	151.5%
営業外収益	▲150	▲1.2%	▲259	▲2.2%	109	57.9%
経常利益	150	1.2%	▲61	▲0.5%	211	-
特別損益	10	0.1%	▲2,149	▲17.9%	2,159	-
当期純利益	100	0.8%	▲2,193	▲18.3%	2,293	-

2 中期計画



中期計画の達成プロセス(ファーンレス事業)

事業環境

国内経済の回復による設備投資の増加
環境・エネルギー問題による当社技術の活用
地球温暖化対策(CO2)問題

ファーンレス事業へのフローの風

事業領域

HRSの燃焼機器
小型熱処理炉を中心とした工業炉の販売
環境関連設備販売
保守サービス部門の強化
海外への展開

開発計画

NEDOの委託開発
高温空気燃焼技術の活用
機器の小型化
標準化・共有化

内製化
人材の育成
業務提携

コスト競争力強化

関係会社間の連携強化、業務提携

M&A アライアンス

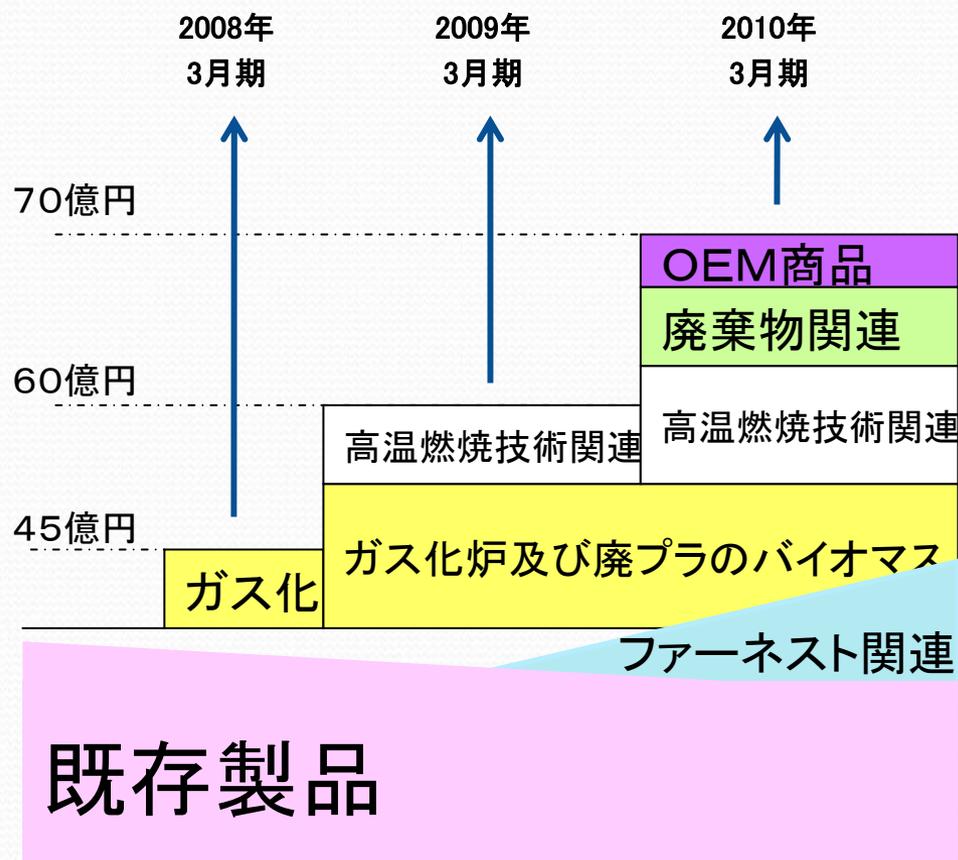
コストダウン

中期事業
計画目標

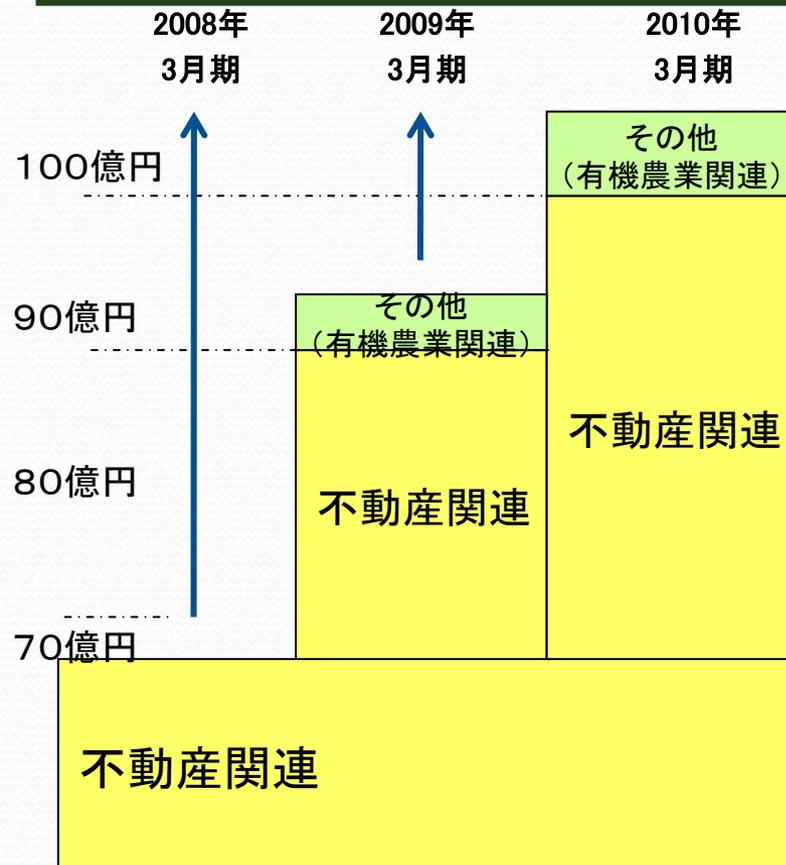
売上高 7,000百万円
営業利益 350百万円(5%)
当期利益 300百万円
※配当の実施

3 売上の構成

売上構成予想(ファーンレス関連)



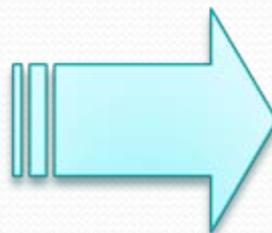
売上構成予想(不動産・その他)



4 技術開発

コンセプト

- ・ 小型化
- ・ 省エネタイプ
- ・ 低公害



分散型処理施設
へ対応

・小型焼却炉

紙おむつ等の病院・介護施設などの敷地内での焼却

・小型バイオマス装置

収集場所での処理が可能

(処理施設まで移動を必要としない)

東南アジア市場が有望

・廃棄物処理

小型化により医療廃棄物を病院敷地内で処理への転用

5 ファーネス事業について

ファーネス事業グループ会社の統合を視野に入れる。

- 製造部門の強化(M&A等により、中規模同業社を買収)
- 海外企業への資本参加による業容の拡大
- 原価管理システムの抜本的改革
- 各グループ企業のリソースの共有
- 調達・製造分野でグループ力の強化
- 新製品のタイムリーな発売（廃棄物の溶融無害化装置等）

6 財務戦略

1. バランスの取れた資金調達
3月末の現・預金 その他 金融資産残高 2,600百万円
直接から間接へのシフト
2. 銀行との資金取引面での連携の強化
3. 1株当たり純資産の向上 ⇒株価 対策
4. 資産の充実

7 株主対策

1. 株主対策 作り（企業防衛）
（利益の確保）
2. 早期配当の実施

NFKとしてのCSR

高度な燃焼技術を省エネルギー・環境問題で貢献して行く

世界的なCO2問題への貢献(HRSバーナー)

高温空気燃焼技術(1200°Cの水蒸気発生装置・特許)の活用によるバイオマスのガス化

地中加温システムによる農業生産物(ハウス栽培)の省エネルギー化、環境への対応